

Greeting

ごあいさつ



会長 山田 豊

「多文化共生社会」の実現に向けて

沼田市国際交流協会は、初代小林、2代西田両会長のご指導と会員各位のご協力並びに沼田市の積極的なご援助をいただき以来着実に成長して、本年7月で10周年を迎えることができました。この10年の活動は多岐にわたりますが、姉妹都市フュッセン市を多くの市民が訪問し、市民同士が友情を確かめ合ったのは特に思い出に残る事業でした。

現在、本会の会員数は240名を超え、8名の外国人が登録していただいておりますが、平成11年の協会創立時は、外国人は1名のみ登録でした。私たちの周辺ではいつの間にか、外国出身の若い人たちが暮らし、働く姿を見かけるのは、ごく普通のこととなりました。

本会の目的は、市民の国際的視野を広げ、海外との交流を図り、国際親善に寄与することとされています。海外に視線を向けながらも、沼田に住む10カ国以上、500人を超える外国人と共に協力し、楽しく暮せる環境をつくるのが当協会に託された大きな使命かと思えます。

私たちが全く異なる価値観や文化を持つ人たちとの「多文化共生社会」の実現に向けてご協力をお願いし、ごあいさついたします。



沼田市長 星野 巳喜雄

名誉会長あいさつ

沼田市国際交流協会が創立10周年を迎えられましたことを、心からお喜び申し上げます。

協会の皆様には、創立以来国際交流フェスティバル、キッズイングリッシュ、外国人を対象とした日本語教室など様々な事業を企画実施され、市民の国際意識の高揚を図り、国際交流を推進する機会を創出されておりますことに、心から敬意を表する次第であります。

昨今、グローバル化が急激に進む中で、誰もが国際的な価値観や感性を養わなければならない時代となり、言語や習慣等異なる人々がお互いを認め協力しあい、共に暮らすことは、多文化共生社会の基盤であります。

本市は、平成7年9月にドイツ連邦共和国フュッセン市と国際姉妹都市協定を締結し、両市の友好関係を推進するとともに、沼田市中学生国際交流事業として、ハワイ・カメハメハスクールとの交流を実施してまいりました。このことは、市民の国際理解や青少年の国際感覚を培うことにつながり、将来、社会を担う国際人としての活躍が大いに期待されるところであります。

結びに、この10周年を契機といたしまして、沼田市国際交流協会の益々のご発展と会員皆様の一層のご活躍をお祈りし、ごあいさついたします。



10周年記念事業実行委員長
西田 洽司

これからもますますのご発展を

最近、地球が急に小さくなったような気がします。どこかの国で金融破綻が起きると忽ち世界中の経済活動が大混乱に陥ったり、どこかで新しいウイルスによる病気が発生すれば、その日のうちに世界中に拡がりがかねないような例が多発しているからです。もはや人類は他者との関わりなくしては全てが成り立たなくなってしまっているようです。

そこで、真に信頼される国際交流がいかに大切か、説かれて久しいわけですが、幸い沼田市では、先駆的な考えをもたれた多数市民の皆さんが小林初代会長を中心に沼田市国際交流協会を設立していただき、すでに10周年を迎えています。

あらためて今日まで盡力された会員皆さまはじめ関係各位に心から敬意を捧げますとともに、この機会に小誌を発刊して今後ますます発展する国際化時代の沼田市発展に少しでもお役に立てればと思っています。